

2022 年 10 月 26 日

<報道発表資料>

東日本旅客鉄道株式会社
K D D I 株 式 会 社

離れていても同じ場所にいるかのようにチームが繋がる 「空間自在ワークプレイスサービス」提供開始

- 東日本旅客鉄道株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：深澤 祐二、以下 JR 東日本）と KDDI 株式会社（本社：東京都千代田区、社長：高橋 誠、以下 KDDI）は、「空間自在プロジェクト」の一環で、2022 年 10 月 26 日から、離れていても同じ場所にいるかのようにチームでのコミュニケーションが可能になる「空間自在ワークプレイスサービス」を提供します。
- 本サービスでは、東京駅など複数拠点で利用可能な「空間自在ワークプレイス」と、お客さまの拠点に設置する「空間自在コネクター」の 2 つのプランを提供します。
- 従来の Web 会議システムに比べて、会話量が約 48% アップすることが実証されており（注）、生産性の向上が期待されるとともに、駅やオフィスなど多様な拠点が繋がることで、場所にとらわれないワークスタイルを実現できます。

（注）2021 年 5 月 17 日～2021 年 6 月 18 日、5 拠点（高輪・虎ノ門・神田・北与野・横浜）間での空間接続の実証実験を実施、13 社（約 500 人利用）にご利用いただき、会話量・表情分析並びにアンケート調査を実施。



<空間自在ワークプレイス（TokyoYard Building）イメージ>

■本サービスの背景

昨今、テレワークの普及に伴い、メンバー間の会話が減少する、議論が深まらないなど、チームとしてのパフォーマンスの向上が難しくなっています。

- ① コミュニケーション機会の減少 ② コミュニケーション濃度の低下 ③ 双方向コミュニケーションの困難



■本サービスについて

本サービスは、オフィス、ご自宅などのリモート拠点、東京駅などのアクセス至便な拠点間を接続することで、チームメンバー・共創先企業など、多様な相手とどこにいても同じ場所にいるかのようにコミュニケーションを図ることを可能にします。

1. 提供する 2 つのプラン

利用形態や利用頻度に応じてお選びいただける 2 つのプランをご用意しています。また、「空間自在ワークプレイス」と「空間自在コネクター」間の接続機能も予定しています。

(1)「空間自在ワークプレイス」

東京駅など、駅近くの好アクセスな拠点でご利用いただけるサービスです。

(2)「空間自在コネクター」

お客さまのオフィスなどの専有の場所でご利用いただけるサービスです。

2. 特長

2 つのプランにより、お客さまの利用シーンに応じて、利便性の高い駅近くの拠点や、お客さまのオフィス、ご自宅などのリモート拠点など、最適な拠点にご導入いただけます。

(1) 臨場感のある映像・音声接続



- ・4K 相当の高画質映像を大画面に表示できるため、参加者の表情や反応を見ながらのプレゼンテーションや、実物を見ながらのコミュニケーションが可能です。
- ・発言者の位置から音が聞こえるサラウンドシステムを備え、複数人でのディスカッションもスムーズに行えます。

(2) 様々な便利機能



- ・接続画面上の資料を透過させることができ、発言者、参加者全員の表情や様子を見ながらプレゼンテーションを行うことが可能です。(透過での資料投影)
- ・最大 10 名まで、バーチャルコネクターを使用して、ご自身のパソコンから参加でき、拠点の映像や資料を高精細に見ることができます。(リモート参加)

※本サービスは、実証実験により、従来の Web 会議と比較して、会話量が約 48% 増加する結果を得られています。

3. さまざまな利用シーン

ワークはもちろんのこと、習い事や教育、ものづくりなど、さまざまなシーンでご活用いただけます。



複数人での同時コミュニケーションは、英会話などさまざまなレッスンの質を高めるとともに、懇親会にも最適です。



表情や身振り、場の雰囲気が伝わるため、採用や研修、教育など多様な場で質の高いコミュニケーションを可能にします。



地方の生産者と首都圏の店舗を空間接続しての対面販売など、場所にとらわれない新しい体験を提供します。

4. 「空間自在ワークプレイス」プランの詳細

(1) 展開エリアについて

駅の近くなど利便性の高いエリアに拠点を整備しています。今後も順次拠点を拡大予定です。

エリア	拠点名	アクセス	開業日
東京	STATION DESK 東京 premium	東京駅八重洲中央口 徒歩約 1 分	2022 年 11 月 10 日
	サピアタワー (ステーションコンファレンス東京)	東京駅日本橋口直結	2022 年 11 月下旬 (予定)
高輪	TokyoYard Building 9 階	高輪ゲートウェイ駅 徒歩約 6 分	2022 年 10 月 26 日
横浜	JR 横浜タワー (STATION SWITCH 横浜)	横浜駅北口改札 徒歩約 1 分	2022 年 11 月下旬 (予定)
大阪	大阪梅田ツインタワーズ・ノース 26 階貸会議室	大阪駅御堂筋南口 徒歩約 5 分 阪急大阪梅田駅 3 階改札口 徒歩約 5 分	2022 年 10 月 26 日

(2) 提供料金について

2 つの料金プランを提供します。ご契約の料金プランや契約アカウント数に応じて、一定時間ご利用いただけます。

プラン名	チームスペースご利用可能時間	月額料金
ライトプラン	4 時間	30,000 円 (税抜) / アカウント
レギュラープラン	8 時間	50,000 円 (税抜) / アカウント

※契約プランに応じた利用時間枠上限に達した場合には 100 円 (税抜) 単位でチャージが可能です。

※会員以外でもゲストユーザーとして参加ができます。

※チームスペースご利用前後での仕事に便利な個人利用のソロスぺースをご用意している拠点もあります。

※詳細は空間自在プロジェクト HP にてご確認ください。<https://kukanjizai.com/>

(3) お申込みについて

空間自在事務局へ、導入のご相談やお見積りなど、お気軽にお問い合わせください。

空間自在事務局メールアドレス：kukanjizai@jreast.co.jp

5. 「空間自在コネクター」プランの詳細

(1) 導入場所について

オフィス内に設置し、お客さまの部屋同士を接続してご利用いただけます。

(2) 提供料金

基本料金	50 万円（税抜）／月額
設定手数料	10 万円（税抜）／初期

※設置する場所（部屋）単位でのご契約となります。

※お客さまの環境に設置する機器類は、基本料金内でご利用いただけるほか、お客さまご自身でのメンテナンスは不要です。

※ネットワーク回線は、お客さまの既存の回線をご利用いただくことも可能ですが、本サービス専用のインターネット回線のご提供も可能です。

(3) お申込みについて

KDDI 法人営業担当へ、導入のご相談やお見積りなど、お気軽にお問い合わせください。

<https://kukanjizai.com/>

■今後の展開

「空間自在ワークプレイス」は、「高輪ゲートウェイシティ（仮称）」のまちづくりの一環として JR 東日本と KDDI が取り組む、場所や時間にとらわれない働き方・暮らし方を創出する「空間自在プロジェクト」から生まれたサービスです。

JR 東日本と KDDI は、今後も「空間自在ワークプレイスサービス」の展開により、日本各地と世界を繋げ、企業の拠点分散を支援するとともに、ヒトを起点としたくらしの創出に取り組んでいきます。

■先行導入されたお客さまの声（ユースケース）

・アイレット株式会社

クラウドインテグレーション事業部 事業部長 小林弘典氏は次のように述べています。

「アイレットでは、お客さまのインフラ環境を安定運用する MSP（Managed Service Provider）チームが、DR（Disaster Recovery：災害復旧）の観点から、東京・大阪の二拠点で 24 時間 365 日の有人監視を実施しています。

これまでチーム間の情報共有は、全メンバーが参加する形でビデオ会議を実施していました。しかし、お客さまからのご連絡やセキュリティルームでの対応などでコミュニケーションが途切れてしまう、また、他拠点で作業するメンバーの状況が把握できないなどの課題がありました。

今回、「空間自在コネクター」を導入することで、各個人がビデオ会議に参加する必要がなくなり、作業に集中しながらもお互いの状況を把握することが可能となります。これにより、作業品質の向上と、拠点到依存しないチーム編成の可能性に期待しています。」



・伊藤忠テクノソリューションズ株式会社

札幌開発センター ソリューションエンジニアリング第 2 部 主任 小原渉氏は次のように述べています。

「CTC 札幌開発センターは、フルリモートでのスクラム開発を行っています。スクラム開発では、チームでのコミュニケーションの質が生産性に直結します。従来環境では、細かなニュアンスを伝えあうことに苦労することも少なくありません。

本サービスを活用することで、リモートでありながらもその場にいるかのような質の高いコミュニケーションを通じて、チームの生産性が高まることを期待しています。」



・富士通株式会社

総務本部 ワークスタイル戦略室 マネージャー 河野芳枝氏は次のように述べています。

「当社では、Work Life Shift のコンセプトのもと、ニューノーマルな働き方を実践しています。その中の一例として、ハイブリットワークを推進しており、オフィスは、イノベーションの源泉となる様々な体験ができるエクスペリエンスプレイスとしています。

具体的には、人が集まって、雑談をしたりディスカッションしたり、Face to face のコラボレーションする場としています。そのオフィスに、空間自在ワークプレイスサービスを導入することによって、遠地のメンバーとも、同じ空間にいるかのようにクリエイティブな仕事ができ、多くのイノベーションがうまれることに期待を寄せています。」

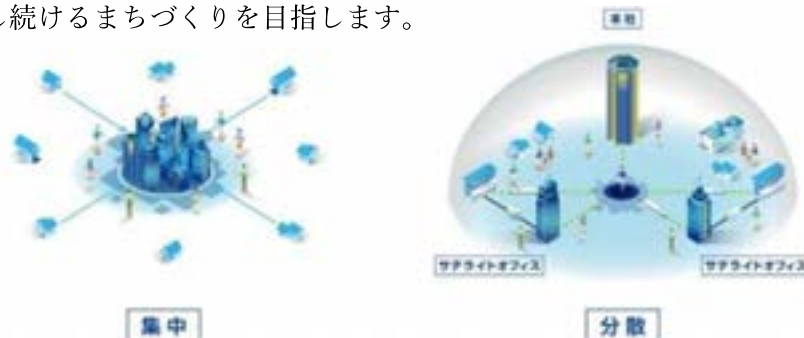


(参考)

■「空間自在プロジェクト」(<https://kukanjizai.com/>) について

JR 東日本と KDDI は、交通と通信の融合により、場所や時間にとらわれない多様な働き方や暮らしを創出する新しい分散型まちづくり「空間自在プロジェクト」の実現に向け、2020 年 12 月 14 日に基本合意書を締結しました。

「空間自在プロジェクト」における都市部のモデル地域として、「高輪ゲートウェイシティ（仮称）」のまちづくりを共同で推進します。5G を前提とした最先端の通信インフラとサービスプラットフォーム（都市 OS）を両社で構築することにより、働く人・住む人・訪れる人の暮らしと都市機能が連携し、アップデートし続けるまちづくりを目指します。



<空間を超えたあたらしい“暮らし”を実現する「空間自在プロジェクト」>

・2020 年 12 月 15 日報道発表：JR 東日本と KDDI、品川開発プロジェクト（第 I 期）をコアとした新たな分散型まちづくりの共同事業化に向けて基本合意

(<https://news.kddi.com/kddi/corporate/newsrelease/2020/12/15/4865.html>)

・2021 年 5 月 11 日報道発表：離れた場所においても同じ空間にいるように仕事ができる「空間自在ワークプレイス」の実証実験を開始

(<https://news.kddi.com/kddi/corporate/newsrelease/2021/05/11/5095.html>)

■「高輪ゲートウェイシティ（仮称）」のまちづくりについて

JR 東日本は、品川開発プロジェクト（第 I 期）として、「高輪ゲートウェイシティ（仮称）」のまちづくりを推進しています。江戸への玄関口としての役割を担った歴史的背景および国内初の鉄道が走った地におけるイノベーションの記憶を継承し、開発コンセプトに「Global Gateway」を掲げ、「100 年先の心豊かなくらしのための実験場」として新たな文化・ビジネスが生まれ続ける街を目指しています。

MICE 施設、オフィス、商業などを含む複合棟 I および高輪ゲートウェイ駅周辺エリアを 2024 年度末（2025 年 3 月）に開業し、その他の棟（複合棟 II・文化創造棟・住宅棟）および各棟周辺エリアを 2025 年度中に開業します。

・「高輪ゲートウェイシティ（仮称）」のまちづくりについて

(https://www.jreast.co.jp/press/2022/20220421_ho01.pdf)



<高輪ゲートウェイシティ（仮称）のイメージ>

2023年2月7日
東日本旅客鉄道株式会社

駅を拠点に地域の未来を担う産業・人材を育てます

～「JRE Local Hub」燕三条・館山開業!! 育成型「こども食堂」を那須塩原に開設～

- JR 東日本は、グループ経営ビジョン「変革 2027」で掲げる「地方を豊かに」を実現するため、駅の交流拠点化を推進しています。地域の駅を拠点にしてエリア外のヒトやサービスをつなぎ、地域の産業や人材を育成することで、新たな地方創生を目指します。
- 政府が進めるデジタル田園都市構想のもと、地方創生型ワークプレイス「JRE Local Hub」が、燕三条駅とホテルファミリーオ館山内に OPEN します。燕三条駅では、100以上の工場(こうば)と国内外の企業をつなぐ取り組みや、東京都の工業高校と連携した教育プログラムなどを実施し、ヒトを育て、地域の産業発展に貢献します。
- JR東日本初となる育成型「こども食堂」を那須塩原駅に開設し、食の提供にとどまらず、英会話などの教育プログラムを実施します。ヒトとの関わりを通じ、食の大切さや学習機会を得られる新たなコミュニティ空間を提供します。

1 目指す姿

「空間自在ワークプレイスサービス※」などの DX を活用し、ビジネスマッチングの仕組みや教育プログラムを構築することで、居住エリアに捉われない豊かな教育・くらしを提供し、地方創生を目指します。



※ 「空間自在ワークプレイスサービス」は、KDDI 株式会社と推進する、場所や時間にとらわれない多様な働き方やくらしの創出を目的とした「空間自在プロジェクト」から生まれたサービスです。

※ 「MOC」は、株式会社ドッツアンドライズが運営する、ものづくりコンシェルジュです。国内外のメーカーから受けるものづくりの依頼に対し、燕三条の協力企業から最適な組み合わせを提案するビジネスマッチング機能を有します。

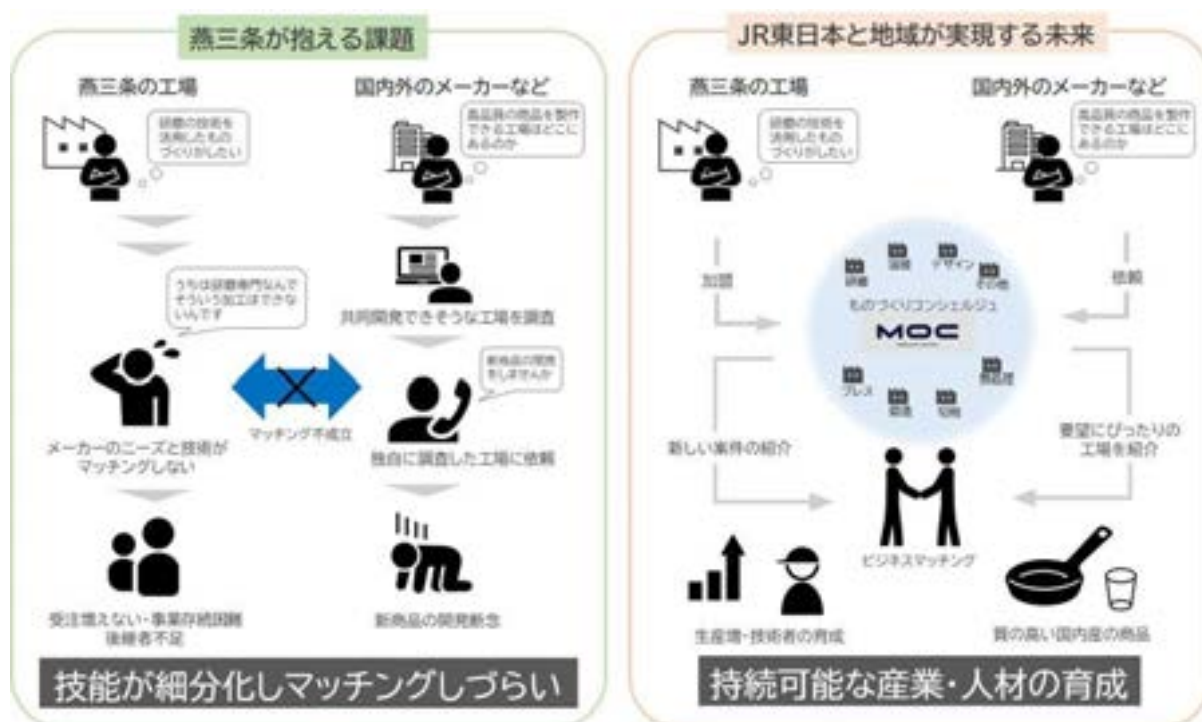
2 「JRE Local Hub」 燕三条・館山 OPEN！！

(1)JRE Local Hub 燕三条

2月17日、燕三条駅構内に「JRE Local Hub 燕三条」がオープンします。

① 100以上の工場(こうば)とつながるビジネスマッチング

JRE Local Hub 燕三条は、株式会社ドッツアンドライズとともに、工場ごとに細分化された技術や役割を集約し、ビジネスマッチングの窓口となります。燕三条の工場と国内外のメーカーをつなぎ、最適な組み合わせを提案することで、優れた技術の発掘とものづくりの発展をサポートします。



【参考】MOC を活用して商品開発に取り組む企業の声



アイリスオーヤマ株式会社
購買二部部長
山田 次郎 様

当社は、高まるグローバルリスクに備えるため「国内回帰」を掲げ、国内への設備投資を積極的に行っています。その中で、燕三条地域は、高い金属加工技術を保有していることから、同地域でのサプライヤーの開拓を進めていました。しかしながら、工場が多く集積していることで取捨選択に時間と労力がかかり、なかなか取引につながりませんでした。今回、MOC の仕組みを利用させていただき、当社の希望の条件面を簡単に伝えるだけで、すぐに複数社の紹介があり、現地見学も実現できました。今後もこの仕組みを活用し、燕三条地域において、新規サプライヤーと Win-Win の関係を構築していきたいです。



▲工場見学の様子(イメージ)

② 各種育成プログラム

ものづくりの活性化および次世代人材の育成を目的として、MOC および東京都の工業高校と連携した参加型教育プログラムや工場体験を開始しています。今後は、空間自在ワークプレイスサービスを活用したりリモート講座を実施し、地域産業について自ら考え、提案する機会を提供します。

また、2023年6月、課題発掘型リーダー人財育成プログラム「JRE Station カレッジ」を開校し、地方創生を志す方々とともに地域課題の解決に取り組めます。

③ コワーキングスペース 地域をつなぐ 連携をつなぐ

さまざまなつながりを生み出す場としてコワーキングスペースを提供します。誰でも好きな時間に利用でき、STATION WORK 専用 WEB サイトからの予約利用も可能になります。

営業時間	全日 10:00～19:00
利用方法	STATION WORK 専用 WEB サイトより予約 ドロップイン利用も可能
料金	『1Day プラン』 1,980 円(税込) 『半日プラン』 1,100 円(税込) 『会議室』 550 円(税込) / 回 『ドロップイン』 143 円(税込) / 15 分

※ 予約開始については、開業日前日の 18:00 頃を予定しています。
※ 料金は変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。
※ 詳細は施設 HP(<https://factory-window.jp/>)よりご確認ください。



▲コワーキングスペース(イメージ)

(2)JRE Local Hub 館山

3 月 20 日(予定)、ホテルファミリーオ館山内に「JRE Local Hub 館山」がオープンします。

① レンタルオフィス 地域をつなぐ 連携をつなぐ

海をのぞむ1棟型レンタルオフィスを整備します。プライバシーを守りながら、館山の温暖な気候、太陽、海といった豊かな自然を満喫しつつ仕事ができる快適な空間を提供します。また、さまざまなエリアからの企業誘致を通じて、地域ビジネスの創出と産業育成に貢献します。

② ビジネススクール 地域をつなぐ 連携をつなぐ

地域の課題解決をテーマとしたビジネスセミナーを定期開催します。地域団体や大学などと連携し、地方創生を担う人材を育成します。

③ コワーキングスペース 地域をつなぐ 連携をつなぐ

リゾート感あふれリラックスできるコワーキングスペースを整備し、多様な働き方と仕事の効率性向上を実現します。館山市内の各施設とも連携し、移住・定住の促進を図ります。

④ 地域一体で取り組む地方創生 地域をつなぐ 連携をつなぐ

館山市を中心に構成するコンソーシアム(共同事業体)と連携し、海沿いに位置する館山ならではの地域の魅力を活かしたシーカヤックやヨガなどのリフレッシュメニューを提供します。



▲1棟型レンタルオフィス



▲コワーキングスペース



▲コワークが可能なパティオ



▲シーカヤックなどの余暇メニュー
(4 画像いずれもイメージ)

3 育成型「こども食堂」が那須塩原に OPEN！！

3 月 25 日、那須塩原駅高架下に新たな育成型こども食堂として「エキナカこども食堂～育む～(仮称)」をオープンします。

食の提供にとどまらず、各地域の指導者からさまざまな教育プログラムを提供し、社会課題とされている教育機会の差を縮めます。

また世代や地域の交流を促進するコミュニティ拠点を目指します。



① 食事の提供を通じた「食育」の推進

地元の新鮮な素材を活用した温かい食事を提供し、食育を通じ子どもも大人も世代を超えて交流できる空間を藤和那須リゾート株式会社とともに提供します。

JR 東日本では、つながりのある地元農家さんから提供いただいた規格外の野菜や加工品を取り扱ったマルシェも実施します。

【食事(お弁当)の提供】

- ・提供日時…毎週火・木・金曜日 17:00～20:00(予定)
- ・料 金…中学生以下 100 円(税込)、大人 200 円(税込)
- ・そ の 他…事前予約制です
大人のみでのご利用はできません



▲建物外観(イメージ)



▲建物内部(イメージ)

② 学習機会の提供

空間自在ワークプレイスサービスを導入し、離れていても同じ空間にいるような臨場感あふれる映像と音声により、対面授業に近い環境を整備し、質の高い英会話学習の機会を提供します。

今後は、アバターなどの先端技術も活用し、居住地や年齢にとらわれない多様な指導者から、音楽やダンスなどの多彩な学びを提供することを目指します。



▲英会話プログラム(イメージ)

【英会話プログラムの実施】

- ・実施日時…毎週金曜日 18:00～19:00(予定)
- ・料 金…無料
- ・そ の 他…事前予約制です
運営は株式会社ティー・シー・ケー・ワークショップ
が行います

4 今後の展開について

今後も、駅を交流拠点に、今回実施する産業振興や人材育成にとどまらず、その地域ごとのさまざまなニーズや課題をくみ取り、地域特性に応じた幅広い施策を展開していきます。

JR 東日本は「地方を豊かに」をキーワードに、デジタル技術の活用や社外パートナーとの共創などにより、すべての人が心豊かに生活できるサービスの提供に取り組んでいきます。

2023 年 12 月 4 日
新 潟 支 社**燕三条のものづくりをテーマとした都立工科高校生向け教育プログラムを実施しています**

～「JRE Local Hub 燕三条」と「TAKANAWA GATEWAY CITY」をつなぎ、未来の人財を育成します～

- JR 東日本は、地方創生型ワークプレイス「JRE Local Hub 燕三条」(新潟県三条市)において、ものづくりの活性化および未来の世代につながる課題解決型人財の育成を行っています。また、「TAKANAWA GATEWAY CITY」(東京都港区)のまちづくりにおいて、街のコンセプトである「プラネタリーヘルス（地球の健康）」の実現に向けた未来の暮らしづくりに取り組んでいます。
- 東京都立工科高校生向けに教育プログラムを実施し、高校生が「プラネタリーヘルス（地球の健康）」につながるグッズを企画・プレゼンテーションを行うことで、ものづくりを通じた人財育成・未来の暮らしづくりを推進します。
- 遠隔地間を同じ場所であるかのようにつなぐコミュニケーションサービス「空間自在ワークプレイス」を活用し、燕三条と高輪間を空間接続して、講義やプレゼンテーションを実施します。また、プログラム中、燕三条の工場視察の機会も設けます。
- 今後も、各「JRE Local Hub」および日本各地の社会課題の解決に向けた実験場である「TAKANAWA GATEWAY CITY」を拠点として、地域・世代をつなぎ、課題解決型人財の育成や地方創生に取り組めます。

1 2023 年度の教育プログラムについて**(1) 概要**

日程	2023 年 11 月 4 日(実施済)、12 月 11 日、2024 年 2 月 3 日
対象	東京都立多摩工科高等学校、東京都立総合工科高等学校
概要	「TAKANAWA GATEWAY CITY」のコンセプトである「プラネタリーヘルス（地球の健康）」 につながるグッズを企画・プレゼンテーション
場所	燕三条：JRE Local Hub 燕三条、工場 高輪：高輪ゲートウェイ駅、TokyoYard Building（東京都港区高輪 2 丁目 21-42）

(2) 詳細プログラム

日程	場所	内容
1 日目 (11 月 4 日) 実施済	高輪⇄燕三条 ※「空間自在ワークプレイス」活用	・TAKANAWA GATEWAY CITY のまちづくり紹介 ・株式会社ドッツアンドラインズによる燕三条のものづくりに関するインプット ・アイデアディスカッション
2 日目 (12 月 11 日)	燕三条	・JRE Local Hub 燕三条視察 ・工場視察 藤田金属株式会社三条支店（材料加工） 熊倉シャーリング有限会社（板金加工） 有限会社横山メッキ工場（表面処理加工）
3 日目 (2 月 3 日)	高輪⇄燕三条 ※「空間自在ワークプレイス」活用	・プレゼンテーション

(3) 燕三条エリアの視察工場について

視察先	藤田金属株式会社 三条支店	熊倉シャーリング有限会社	有限会社横山メッキ工場
概要	創業 130 年を超え、東日本全域に事業を展開している鉄鋼専門商社。モノづくりに必要不可欠な材料である「鉄」を必要な加工を施しお客さまに供給している企業です。	シャーリング加工の強みを活かしてプレスブレーキやファイバーレーザーを主力に金属板の曲げ、組み立てまで幅広い分野の製品を生産している板金加工の企業です。	ニッケルクロムをはじめ、無電解ニッケルメッキ、亜鉛、亜鉛ニッケル合金、セミクロ、黒クロム、三価黒クロムまた、鉄や銅、真鍮だけでなく、ステンレスやアルミ上のメッキなどお客さまのニーズに合った製品をご提供しているメッキ処理を行っている企業です。
画像			

2 今後の展開

今後も、日本各地の社会課題の解決に向けた実験場となる「TAKANAWA GATEWAY CITY」と、「JRE Local Hub 燕三条」をはじめとした各「JRE Local Hub」をつなぎ、地域・世代を超えた繋がりによる課題解決に取り組むとともに、都内の高校生一人一人の可能性を広げる教育機会の創出に取り組めます。



※画像はイメージです。
※掲載内容は予定であり実施内容を変更・中止することがあります。

【参考】「JRE Local Hub 燕三条」について

新潟県燕三条地域の技術や人々をエリアや世代を超えてつなぐ新幹線駅直結の地方創生型ワークプレイスです。「燕三条こうばの窓口」を併設し、地域に点在する 100 以上の工場とのビジネスマッチングを行い企業の商品開発をサポートします。また、地元自治体三条市や各工場と連携した教育プログラムを開催しています。

▶施設名：JRE Local Hub 燕三条

▶内容：地域の技術や人々をエリアや世代を超えて
つなぐ地方創生型ワークプレイス

▶場所：上越新幹線 燕三条駅 改札外 2 階

▶開業日：2023 年 2 月 17 日

公式ウェブサイト (<https://factory-window.jp/>)



【参考】「TAKANAWA GATEWAY CITY」のまちづくり 概要

江戸の玄関口としての役割を担った歴史的背景および国内初の鉄道が走った地におけるイノベーションの記憶を継承し、開発コンセプトに「Global Gateway」を掲げ、「100年先の心豊かなくらしのための実験場」として新たなビジネス・文化が生まれ続ける街を目指しています。

複合棟Ⅰおよび高輪ゲートウェイ駅周辺エリアを2024年度末（2025年3月）に開業し、その他の棟（複合棟Ⅱ・文化創造棟・住宅棟）および各棟周辺エリアを2025年度中に開業します。

公式ウェブサイト (<https://www.takanawagateway-city.com>)



東京大学と100年間の産学協創協定の締結



東京大学 GATEWAY Campus イメージ



シンガポール国立大学と連携協力の覚書の締結